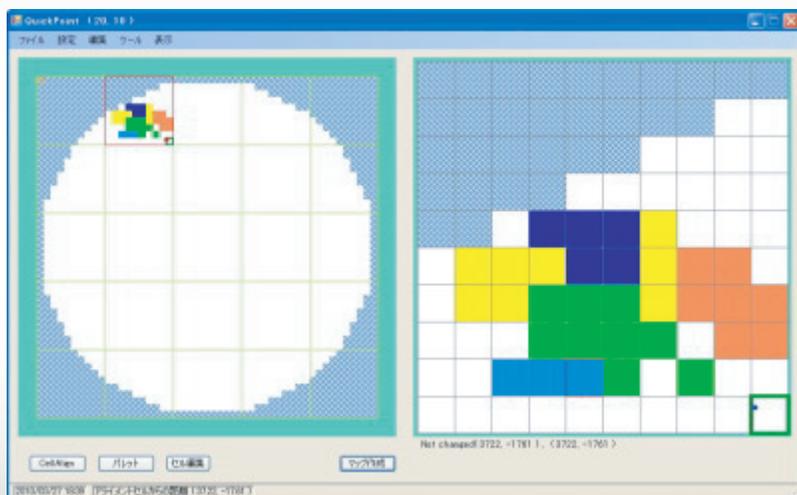


マッピングソフト QuickPoint



顕微鏡による目視検査の 効率・品質改善のための 『検査支援ソフト』

検査工程をさらに信頼性の高いものにしたい。そのために誕生したのが、『マッピングソフト QuickPoint』。

検査漏れゼロをサポート

マップソフトはいま観察しているポイントをリアルタイムに表示して、検査結果をソフト上で管理します。検査した箇所がソフト上で確認できるため、検査漏れをなくすることが可能です。また、検査結果の記入ミスを防止します。

検査結果をテキストファイル出力

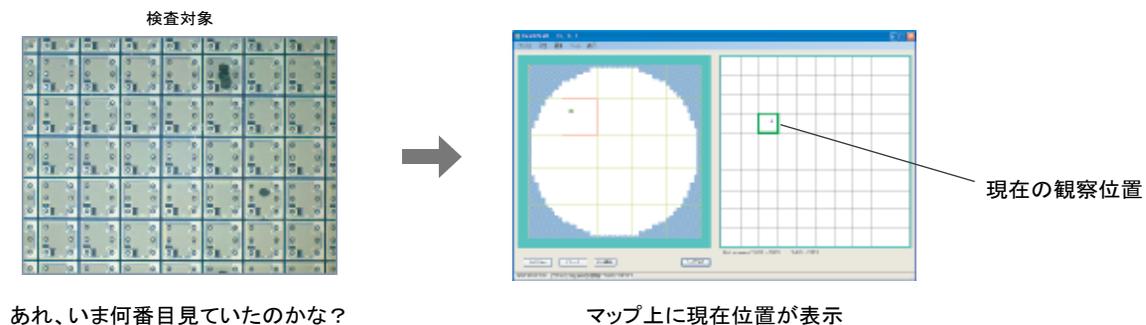
不良箇所を見つけたら、ワンクリックで結果情報を記録できます。検査終了後に、テキストファイルで検査結果を出力できます。表計算ソフトに入力する必要がなくなります。

ご使用中の顕微鏡をシステムアップ

いまお使いの顕微鏡のXYテーブルに位置検出センサを取り付けるだけでシステムアップできます。大規模な設備投資をすることなく効率化を実現できます。

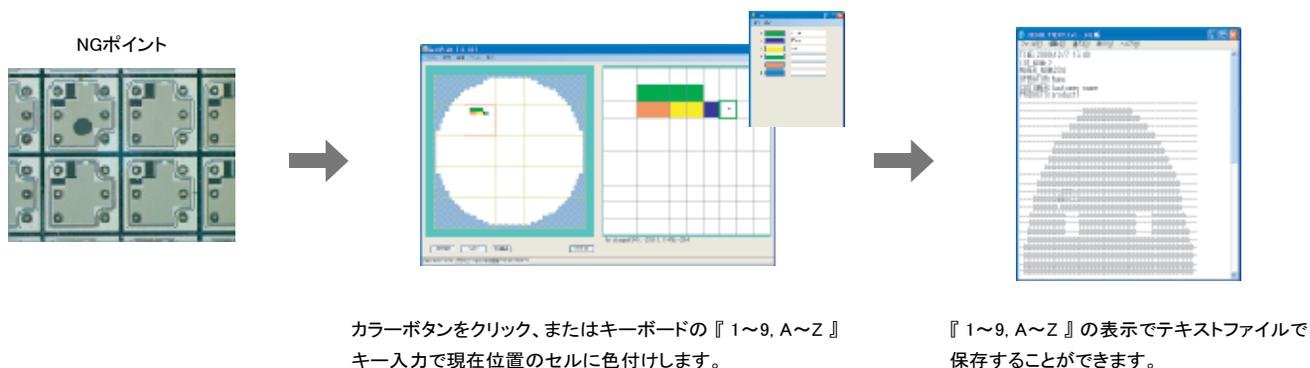
観察位置表示

従来、ウェハ上のチップや整列したデバイス検査では、いま見ている箇所が分からなくなることがありました。現在観察している位置を画面に表示することで、見失うことがなくなります。抜き出し検査のような、予め決められた位置を観察することも容易になります。



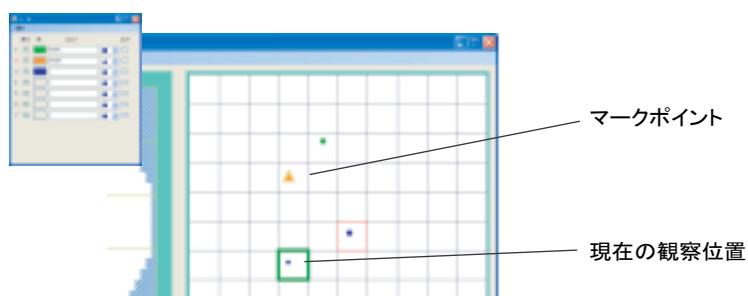
検査結果カラーリング

検査箇所にはOK、NGに対応する色を表示することができます。結果をテキストファイルで出力することができます。NG箇所のアドレス確認、表計算ソフトへの結果入力する時のミスなどの人的エラーをなくすことができます。



位置マーキング機能

後で確認したいようなポイントをマップ上にマークしておくことができます。マップを見ながらステージを操作することで、マークしたポイントに簡単に移動できます。

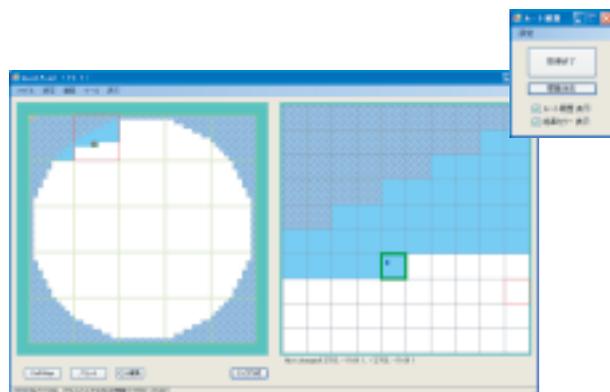


顕微鏡を覗いて目的のポイントに移動するのは大変だな．．
でも、マップを見ながらなら容易！

ルート履歴機能

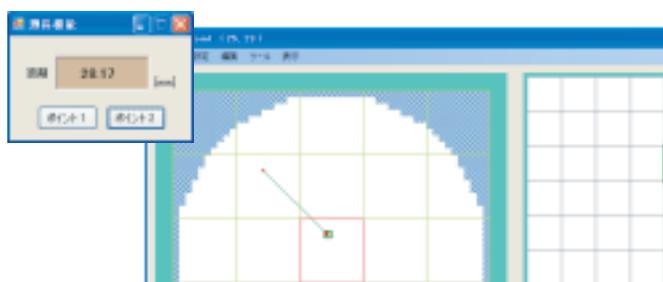
移動したポイントに自動で色をつけることができます。

検査済みの箇所が一目で確認できるので、検査漏れを防ぐことができます。



測長機能

観察対象の2点間の距離を測ることができます。顕微鏡を覗いて1点目の位置でクリック、2点目の位置に移動してクリックすると距離を表示します。



アライメント機能

検査対象がステージの移動軸に対して平行に置かれていないと観察ポイントとマップがずれてしまいます。この傾きをソフトウェアで補正します。



検査結果ファイル出力

製品名、ロット番号、作業者名、顧客名などの情報と検査結果をテキストファイルで出力します。

結果は『1～9, A～Z』の数字・アルファベットで出力することができます。

ファイル内のフォーマットはお客様の仕様に合わせて改造することもできます。ご相談ください。

装置構成

顕微鏡ステージにリニアエンコーダを取り付け、パソコンとUSBケーブルで接続します。

位置検出センサ(リニアエンコーダ)、マップソフトウェア、USBケーブルの一式です。(パソコン、顕微鏡をご用意ください。)



動作環境

■ ソフトウェア

以下のオペレーティングシステム(OS)にインストールできます。

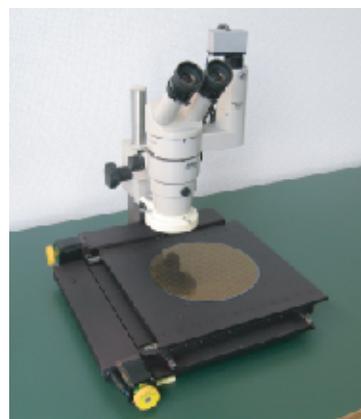
- Windows XP 32bit版(日本語版)
- Windows Vista 32bit版(日本語版)

■ ハードウェア

- ディスプレイ : ハイカラー(16bit) Super XGA (1024 X 768) 以上の解像度のモニタ
- USBポート : USB1.1(FULL SPEED(12Mbps)) または USB2.0 の1ポート

スライドテーブル製作

検査対象が大きい場合、顕微鏡付属のテーブルでは対応できないことがあります。お客様の仕様に合わせてスライドテーブルを製作いたします。また、ワーク固定治具なども製作できますので、何なりとご相談ください。



開発・製造元

株式会社 ファインシス

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-19-10

上荻ホワイトビル403

TEL : 03-5938-8530 FAX : 03-5938-8502

URL : www.finesys.jp

ぜひ、デモ機にてご評価ください！